

秋 田 県

土木工事共通仕様書

平成28年10月1日以降適用

出来形管理基準

【治山・林道編】

赤字：秋田県独自項目

青字：今回改訂部分

(H28.10.1改訂)

— 表紙 (裏) 空欄 —

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第 2 1 編 治山編						
第 1 章 森林整備工事の適用						
第 5 節 一般施工	21-1-5-1	1	植生工	種子吹付工	第 3 編 3-2-14-2 植生工	1
				張芝工		1
				筋芝工		1
				市松芝工		1
				植生シート工		1
				植生マット工		1
				種子筋工		1
				人工張芝工		1
				植生穴工		1
				21-1-5-1		2
	客土吹付工	1				
	21-1-5-2		区画線工		第 3 編 3-2-3-9 区画線工	2
	21-1-5-4		視線誘導標		第 3 編 3-2-3-10 道路付属物工	2
	21-1-5-5		木製構造物工			2
	21-1-5-10	1	鉄線籠工	ふとんかご工		3
	21-1-5-10	2	鉄線籠工	じゃかご工		3
	21-1-5-11		管きょ工	ヒューム管	第 22 編 22-2-6-7 プレキャストカルバート工	3
				P C 管		
				コルゲートパイプ		
				ダクタイル鋳鉄管		
	21-1-5-12		枠工	鉄筋コンクリート型枠		4
				片法枠工		
				鋼製枠工		
	21-1-5-13		鋼製柵工			4
	21-1-5-14		金網張工			4
	21-1-5-16	1	土留・仮締切・土のう工	H 鋼杭	第 3 編 3-2-10-5 土留・仮締切工	5
				鋼矢板		
	21-1-5-16	2	土留・仮締切・土のう工	アンカー工	第 3 編 3-2-10-5 土留・仮締切工	5
	21-1-5-16	3	土留・仮締切・土のう工	連節ブロック張り工	第 3 編 3-2-10-5 土留・仮締切工	5
	21-1-5-16	4	土留・仮締切・土のう工	締切盛土	第 3 編 3-2-10-5 土留・仮締切工	5
	21-1-5-16	5	土留・仮締切・土のう工	中詰盛土	第 3 編 3-2-10-5 土留・仮締切工	5
	第 6 節 土工	21-1-6-2		掘削工・切土工		
21-1-6-3			盛土工・埋戻し			6
第 2 章 溪間工						
第 3 節 工場製作工	21-2-3-3		鋼製ダム製作工	仮組立時	第 3 編 3-2-12-3 桁製作工（鋼製えん堤製作工（仮組立時））	7
	21-2-3-4		鋼製ダム仮設材製作工			7
	21-2-3-5		工場塗装工		第 3 編 3-2-12-11 工場塗装工	7

秋田県土木工事共通仕様書 [H28.10.1 以降適用] 出来形管理基準【治山・林道編】 目次

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第4節 コンクリートダム工	21-2-4-3 21-2-4-4		コンクリートダム工 コンクリート副ダム工			8
	21-2-4-5 21-2-4-6		コンクリート側壁工 間詰工			8
	21-2-4-7		水叩工			8
第5節 木製ダム工	21-2-5-4		木製ダム工本体工			9
	21-2-5-5		木製側壁工			9
	21-2-5-6		間詰工・水叩工			9
第6節 鋼製ダム工	21-2-6-4		鋼製ダム本体工	不透過型		10
	21-2-6-4		鋼製ダム本体工	透過型		10
	21-2-6-5		鋼製側壁工			10
	21-2-6-6 21-2-6-7		コンクリート側壁工 間詰工		第21編 21-2-4-5,6 コンクリート側壁工・間詰工	11
	21-2-6-8		水叩工		第21編 21-2-4-7 水叩工	11
	21-2-6-9		現場塗装工		第3編 3-2-3-31 現場塗装工	11
第7節 護岸工	21-2-7-3	1	コンクリート工		第21編 21-2-4-5 コンクリート側壁工	12
	21-2-7-3	2	木製枠工		第21編 21-2-5-5 木製側壁工	12
	21-2-7-3	3	鋼製枠工		第21編 21-2-6-5 鋼製側壁工	12
	21-2-7-3	4	コンクリートブロック工		第3編 3-2-5-3 コンクリートブロック工	12
	21-2-7-4	1	根固工		第3編 3-2-3-17 根固めブロック工	13
	21-2-7-4	2	沈床工		第3編 3-2-3-18 沈床工	13
	21-2-7-5	1	かご工	じゃかご工	第21編 21-1-5-10 鉄線籠工（じゃかご工）	13
	21-2-7-5	2	かご工	ふとんかご工	第21編 21-1-5-10 鉄線籠工（ふとんかご工）	14
第8節 水制工	21-2-8-1	1	水制工		第21編第2章第7節護岸工	14
第9節 流路工	21-2-9-1	1	流路工		第21編第2章第7節護岸工	14
第10節 異形コンクリートブロック工	21-2-10-1		異形ブロック製作			14
	21-2-10-1		異形コンクリートブロック据付		第3編 3-2-3-17 根固めブロック工	14
第3章 山腹工						
第3節 法面工	21-3-3-2		植生工		第3編 3-2-14-2 植生工	15
	21-3-3-3		吹付工		第3編 3-2-14-3 吹付工	15
	21-2-3-4		法枠工		第3編 3-2-14-4 法枠工	15
	21-2-3-5	1	かご工	じゃかご工	第21編 21-1-5-10 鉄線籠工（じゃかご工）	15
	21-2-3-5	2	かご工	ふとんかご工	第21編 21-1-5-10 鉄線籠工（ふとんかご工）	16
第4節 法切工	21-3-4-2		法切工		第21編 21-1-6-2 掘削工・切土工	16
第5節 土留工	21-3-5-3 21-3-5-4		コンクリート土留工 鉄筋コンクリート土留工			17

秋田県土木工事共通仕様書 [H28.10.1 以降適用] 出来形管理基準【治山・林道編】 目次

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 土留工	21-3-5-5		石積土留工 コンクリートブロック積土留工		第3編 3-2-5-3 コンクリートブロック工	17
	21-3-5-6		丸太積土留工		第21編 21-1-5-5 木製構造物工	18
	21-3-5-7		コンクリート板土留工			18
	21-3-5-8		鋼製枠土留工		第21編 21-1-5-12 枠工	18
	21-3-5-9		土のう積土留工			18
第7節 暗きょ工	21-3-7-2		礫暗きょ工		第3編 3-2-3-29 側溝工	19
	21-3-7-3		鉄線籠暗きょ工			
	21-3-7-4		二次製品暗きょ工			
	21-3-7-5		ボーリング暗きょ工		第21編 21-4-4-1 ボーリング暗きょ工	19
第8節 水路工	21-3-8-2		張芝水路工			19
	21-3-8-3		練芝及び空張水路工			
	21-3-8-5		丸太柵及び編柵水路工			
	21-3-8-6		土のう等緑化二次製品水路工			
	21-3-8-4		鋼製及びコンクリート二次製品水路工			19
	21-3-8-7		集水柵工		第3編 3-2-3-30 集水柵工	20
第9節 柵工	21-3-9-2		編柵工			20
	21-3-9-3		木柵及び丸太柵工			
	21-3-9-4		コンクリート板柵工			
	21-3-9-5		鋼製及び合成樹脂二次製品柵工			
第10節 階段切付工	21-3-10-1		階段切付工		第21編 21-1-6-2 掘削工・切土工	20
第11節 筋工	21-3-11-2		石筋工		第21編第9節 柵工	21
	21-3-11-3		萱筋工			
	21-3-11-4		丸太筋工			
	21-3-11-5		その他緑化二次製品を用いた筋工			
第12節 伏工	21-3-12-2		わら伏工			22
	21-3-12-3		むしろ伏工			
	21-3-12-4		網伏工			
	21-3-12-5		その他二次製品を用いた伏工			
第13節 実播工	21-3-13-2		筋実播工		第3編 3-2-14-2 植生工	22
	21-3-13-3		斜面実播工			
	21-3-13-4		航空実播工			
第14節 吹付工	21-3-14-2		種子吹付工A		第3編 3-2-14-2 植生工	22
	21-3-14-3		種子吹付工B			
第15節 植栽工	21-3-15-2		植栽工	正方形植栽等		22
	21-3-15-3			並木植え等		23
	21-3-15-4		追肥			23
			捕植			23
第16節 補強土壁工	21-3-16-1		補強土壁工	補強土（テールアルメ）壁工法	第3編 3-2-15-3 補強土壁工	24
				多数アンカー式補強土工法		
				ジオテキスタイルを用いた補強土壁工法		
第17節 落石防止工	21-3-17-3		鋼製落石防止壁工			24
	21-3-17-4		落石防護柵工			
	21-3-17-6		落石防護土留工			
第17節 落石防止工	21-3-17-5		落石防護網工			24
	21-3-17-7		固定工（ロープ伏工）			

秋田県土木工事共通仕様書 [H28.10.1 以降適用] 出来形管理基準【治山・林道編】 目次

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第4章 地すべり防止工						
第4節 ボーリング暗きょ工	21-4-4-1		ボーリング暗きょ工			25
第5節 集水井	21-4-5-3		集水井工			25
第6節 排水トンネル工	21-4-6-3		支保工			25
	21-4-6-5		覆工			26
第7節 排土及び押え盛土	21-4-7-2		排土工		第3編 3-2-14-2 掘削工・切土工	26
	21-4-7-3		押え盛土工		第3編 3-2-14-3 盛土工・埋戻し	26
第8節 杭工	21-4-8-2		鋼管杭 合成杭		第3編 3-2-4-4 製杭工	26
第9節 シャフト工(深礎工)	21-4-9-1		シャフト工	深礎工	第3編 3-2-4-6 深礎工	27
第10節 アンカー工	21-4-10-2		アンカー工		第3編 3-2-14-6 アンカー工	27
第5章 海岸防災林造成						
第4節 護岸基礎工	21-5-4-4		捨石工			28
	21-5-4-5		場所打コンクリート工			28
	21-5-4-6		海岸コンクリートブ ロック工			28
	21-5-4-7	1	笠コンクリート工		第3編 3-2-4-3 基礎工	29
	21-5-4-7	1	笠コンクリート工	プレキャスト笠コン クリート	第3編 3-2-4-3 法留基礎工	29
	21-5-4-8	1	基礎工		第3編 3-2-4-3 法留基礎工	29
	21-5-4-8	2	基礎工	プレキャスト基礎工	第3編 3-2-4-3 法留基礎工	29
	21-5-4-9		矢板工		第3編 3-2-3-4 矢板工	30
第5節 護岸工	21-5-5-3		捨石張り工			30
	21-5-5-4		石張り・石積み工		第3編 3-2-5-5 石積(張)工	30
	21-5-5-5		海岸コンクリートブ ロック工	製作	第21編第2章第10節 異 形ブロック製作	30
	21-5-5-5		海岸コンクリートブ ロック工			30
	21-5-5-6		コンクリート被覆工			31
	21-5-5-7		現場打擁壁工			31
	21-5-5-7		現場打擁壁工			31
第6節 天端被覆工	21-5-6-2		コンクリート被覆工			32
	21-5-6-3		アスファルト被覆工			32
第7節 波返工	21-5-7-3		波返工			32
第8節 裏法被覆工	21-5-8-2		石積(張)工		第3編 3-2-5-5 石積(張)工	32
	21-5-8-3	1	コンクリートブロッ ク工	コンクリート張り コンクリートブロッ ク積み	第3編 3-2-5-3 コンクリ ートブロック工	33
	21-5-8-3	2	コンクリートブロッ ク工	連節ブロック張り	第3編 3-2-5-3 コンクリ ートブロック工	33
	21-5-8-4		コンクリート被覆工			33
	21-5-8-5		アスファルト被覆工			34
	21-5-8-6		法枠工	現場打法枠工 プレキャスト法枠工 現場吹付法枠工	第3編 3-2-14-4 法枠工	34
	21-5-8-6		法枠工	現場打法枠工 プレキャスト法枠工 現場吹付法枠工	第3編 3-2-14-4 法枠工	34
	21-5-8-6		法枠工	現場打法枠工 プレキャスト法枠工 現場吹付法枠工	第3編 3-2-14-4 法枠工	34
第9節 排水構造物工	21-5-9-3	1	側溝工	プレキャストU型側溝		34
	21-5-9-3	3	側溝工	自由勾配側溝		34
	21-5-9-4		集水桝工			35

秋田県土木工事共通仕様書 [H28.10.1 以降適用] 出来形管理基準【治山・林道編】 目次

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第9節 排水構造物工	21-5-9-5		堤脚水路工			35
	21-5-9-6	1	管渠工	プレキャストパイプ プレキャストボックス		35
	21-5-9-6	2	管渠工	コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管		36
第10節 付属物設置工	21-5-10-4		階段工			36
	21-5-10-5		防止柵工		第3編 3-2-3-7 防止柵工	36
第11節 付帯道路工	21-5-11-4	1	アスファルト舗装工	下層路盤	第3編 3-2-6-7 アスファルト舗装工	36
		2		上層路盤		37
		3		基層		37
		4		表層		37
	21-5-11-5	1	コンクリート舗装工	下層路盤	第3編 3-2-6-12 コンクリート舗装工	38
		2		上層路盤		
		3		コンクリート舗装		
	21-5-11-6		薄層カラー舗装工		第3編 3-2-6-13 薄層カラー舗装工	38
	21-5-11-7	1	側溝工	プレキャストU型側溝		39
		2		L型側溝		
		3		自由勾配側溝		
		4		管渠		
	21-5-11-8		集水枿工			40
	21-5-11-9		縁石工		第3編 3-2-3-5 縁石工	40
	21-5-11-10		小型標識工		第3編 3-2-3-6 小型標識工	40
	21-5-11-11		路側防護柵工		第3編 3-2-3-8 路側防護柵工	40
	21-5-11-12		区画線工		第3編 3-2-3-9 区画線工	41
	21-5-11-14		道路付属物工		第3編 3-2-3-10 道路付属物工	41
第12節 根固め工	21-5-12-2		捨石工（根固め工）			41
	21-5-12-3		根固ブロック工	製作	第21編第2章第10節 異形ブロック製作	42
			根固ブロック工			42
第13節 消波工	21-5-13-2		捨石工（消波工）			42
	21-5-13-3		消波ブロック工	製作	第21編第2章第10節 異形ブロック製作	42
			消波ブロック工			42
第14節 砂丘造成	21-5-14-1		堆砂工	堆砂垣・丘頂柵工	第21編第3章第9節 柵工	43
	21-5-14-2		盛土工		第1編 1-2-3-3 盛土工	43
	21-5-14-3		覆砂工	伏工・砂草植栽	第21編第3章第12節 伏工	43
	21-5-14-4		実播工		第21編第3章第13節 実播工	43
第15節 森林造成	21-5-15-1		生育基盤盛土工			44
	21-5-15-2		防風工			44
	21-5-15-4		静砂工（静砂垣）			
	21-5-15-3		排水工		第21編第3章第8節 水路工	44
	21-5-15-5		植栽工		第21編第3章第15節 植栽工	44
第16節 防風林の造成	21-5-16-1		防風柵		第21編第3章第9節 柵工	44
	21-5-16-2		水路工		第21編第3章第8節 水路工	44
	21-5-16-2		暗きょ工		第21編第3章第7節 暗きょ工	44
	21-5-16-3		植栽工		第21編第3章第15節 植栽工	44
第17節 異形コンクリートブロック工	21-5-17-1		異形コンクリートブ		第21編第2章第10節 異形コンクリートブロック工	45
	21-5-17-2		ロック工			

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第 6 章 なだれ防止林造成						
第 5 節 雪び予防工	21-6-5-1	1	吹きだめ柵 吹き払い柵			45
第 6 節 なだれ予防工	21-6-6-1		階段工		第 21 編 21-1-6-2 掘削工・切土工	45
	21-6-6-2		予防柵 防止柵			46
	21-6-6-3		吊柵 吊柵		第 21 編 3 章第 17 節 落石防止工	46
	21-6-6-5		誘導擁壁		第 21 編第 3 章第 5 節 土留工	46
	21-6-6-6		誘導柵			47
	21-6-6-7		減勢杭			47
	21-6-6-7		減勢柵工		第 21 編 21-1-5-12 柵工 (鉄筋コンクリート方格柵)	47
第 7 節 防護工	21-6-7-1		防護擁壁		第 21 編第 3 章第 5 節 土留工	47
	21-6-7-2		防護柵		第 21 編 21-6-6-2 予防柵・防止柵	48
第 8 節 グライド防止工	21-6-8-1		木製階段工		第 21 編 21-1-6-2 掘削工・切土工 及び 第 21 編 21-3-9-3 木柵及び丸太柵工	48
第 9 節 森林造成	21-6-9-1		植栽工		第 21 編第 3 章第 15 節 植栽工	48

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第 2 2 編 林道編						
第 1 章 森林整備工事の適用						
第 5 節 一般施工	22-1-5-1	1	植生工	種子吹付工	第 3 編 3-2-14-2 植生工	49
				張芝工		
				筋芝工		
				市松芝工		
				植生シート工		
				植生マット工		
				種子筋工		
				人工張芝工		
				植生穴工		
	22-1-5-1	2	植生工	厚層基材吹付工	第 3 編 3-2-14-2 植生工	49
				客土吹付工		
	22-1-5-2		区画線工		第 3 編 3-2-3-9 区画線工	50
	22-1-5-4		視線誘導標		第 3 編 3-2-3-10 道路付属物工	50
	22-1-5-5		木製構造物工			50
	22-1-5-10	1	鉄線籠工	ふとんかご工		51
	22-1-5-10	2	鉄線籠工	じゃかご工		51
	22-1-5-11		管きょ工	ヒューム管	第 22 編 22-2-6-7 プレキャストカルバート工	51
				P C 管		
				コルゲートパイプ		
				ダクタイル鋳鉄管		
	22-1-5-12		枠工	鉄筋コンクリート型枠		52
				片法枠工		
				鋼製枠工		
	22-1-5-13		鋼製柵工		第 21 編 21-1-5-13 鋼製柵工	52
	22-1-5-14		金網張工			52
	22-1-5-15	1	土留・仮締切・土のう工	H 鋼杭	第 3 編 3-2-10-5 土留・仮締切工	53
				鋼矢板		
	22-1-5-15	2	土留・仮締切・土のう工	アンカー工	第 3 編 3-2-10-5 土留・仮締切工	53
	22-1-5-15	3	土留・仮締切・土のう工	連節ブロック張り工	第 3 編 3-2-10-5 土留・仮締切工	53
	22-1-5-15	4	土留・仮締切・土のう工	締切盛土	第 3 編 3-2-10-5 土留・仮締切工	53
	22-1-5-15	5	土留・仮締切・土のう工	中詰盛土	第 3 編 3-2-10-5 土留・仮締切工	53
第 6 節 土工（一般土工）	22-1-6-2		掘削工・切土工			54
	22-1-6-3		盛土工・埋戻し			54
〃 （道路土工）	22-1-6-8		掘削工・切土工			54
	22-1-6-9		盛土工	路床・路体：舗装施工		55
	22-1-6-10			砂利施工		
	22-1-6-9		法面整形工（盛土工）			55
	22-1-6-10					
	22-1-6 共通		路線・縦断			55
			上層路盤工（砂利施工）			55
			下層路盤工（砂利施工）			56
			コンクリート路面工			56
			コンクリート路面工	路盤工		56

秋田県土木工事共通仕様書 [H28.10.1 以降適用] 出来形管理基準【治山・林道編】 目次

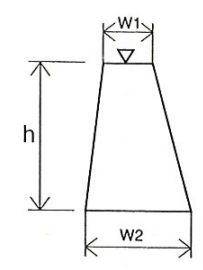
編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第2章 道路工事						
第4節 法面工	22-2-4-2		植生工		第3編 3-2-14-2 植生工	57
	22-2-4-3		法面吹付工	コンクリート モルタル	第3編 3-2-14-3 吹付工	57
	22-2-4-4		法枠工		第3編 3-2-14-4 法枠工	57
	22-2-4-6		アンカー工		第3編 3-2-14-6 アンカー工	57
	22-2-4-8		アンカー工	プレキャストコンクリート板		
	22-2-4-7		かご工	じゃかご	第22編 22-1-5-10 鉄線籠工（じゃかご工）	58
	22-2-4-7		かご工	ふとんかご	第22編 22-1-5-10 鉄線籠工（ふとんかご工）	58
第5節 擁壁工	22-2-5-3		既製杭工		第3編 3-2-4-4 既製杭工	58
	22-2-5-4		場所打杭工		第3編 3-2-4-5 場所打杭工	58
	22-2-5-5		場所打擁壁工			59
	22-2-5-6		プレキャスト擁壁工		第3編 3-2-15-2 プレキャスト擁壁工	59
	22-2-5-7		補強土壁工	補強土（テールアルメ）壁工法 多数アンカー式補強土工法 ジオテキスタイルを用いた補強土壁工法	第3編 3-2-15-3 補強土壁工	60
	22-2-5-8		井桁ブロック工		第3編 3-2-15-4 井桁ブロック工	
	22-2-5-9		コンクリートブロック擁壁工		第3編 3-2-5-3 コンクリートブロック工	
	22-2-5-10		石積（張）工		第3編 3-2-5-5 石積（張）工	60
	22-2-5-11		かご擁壁工		第22編 22-1-5-12 枠工	60
	22-2-5-12		鋼製擁壁工			
	22-2-5-13		簡易鋼製土留擁壁工			
	22-2-5-14		木製土留・擁壁工		第22編 22-1-5-5 木製構造物工	60
	22-2-5-15		土のう積工		第21編 21-3-5-9 土のう積土留工	61
	22-2-5-16		土留・仮締切工		第22編 22-1-5-16 土留・仮締切り・土のう工	61
第6節 カルバート工	22-2-6-6		場所打函渠			61
	22-2-6-7		プレキャストカルバート工	プレキャストボックス工 プレキャストパイプ工		62
	22-2-6-9		土留・仮締切工		第22編 22-1-5-16 土留・仮締切り・土のう工	
第7節 排水施設工	22-2-7-3		側溝工	プレキャストU型側溝 コルゲートフリューム 自由勾配側溝		62
	22-2-7-4		管渠工			
	22-2-7-5		集水桝			
	22-2-7-6		地下排水工			63
	22-2-7-7		現場打（組立）水路工			63
第8節 落石雪害防止工	22-2-8-4		落石防止網工			63
	22-2-8-5		落石防護柵工			64
	22-2-8-6		防雪柵工			64
	22-2-8-7		雪崩予防柵工			64

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第3章 舗装						
第3節 舗装工	22-3-3-6		半たわみ性舗装工		第3編 3-2-6-8 半たわみ性舗装工	65
	22-3-3-7		排水性舗装工		第3編 3-2-6-9 排水性舗装工	65
	22-3-3-9		グースアスファルト舗装工		第3編 3-2-6-11 グースアスファルト舗装工	66
	22-3-3-10		コンクリート舗装工		第3編 3-2-6-12 コンクリート舗装工	66
	22-3-3-11		薄層カラー舗装工		第3編 3-2-6-13 薄層カラー舗装工	66
	22-3-3-12		ブロック舗装工		第3編 3-2-6-14 ブロック舗装工	66
	22-3-3 共通		歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工			67
			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工			67
第4節 路面排水工	22-3-4-3		側溝工	L型街渠工 L O型街渠工 プレキャストU型側溝工 管(函)渠型側溝工		68
	22-3-4-4		管渠工			
	22-3-4-5		街渠柵・マンホール工	街渠柵工 マンホール工		68
	22-3-4-6		排水性舗装用路肩排水工			68
	22-3-5-3		路側防護柵工		第3編 3-2-3-8 路側防護柵工	68
	22-3-5-4		防止柵工		第3編 3-2-3-7 防止柵工	69
	22-3-6-3		小型標識工		第3編 3-2-3-6 小型標識工	69
第6節 標識工	22-3-6-4		土留・仮締切工		第3編 3-2-10-5 土留・仮締切工	69
	22-3-6-5		大型標識工	標識基礎工		69
	22-3-6-5		大型標識工	標識柱工		69
	22-3-7-3		区画線工		第3編 3-2-3-9 区画線工	70
第7節 道路付属物施設工	22-3-7-4		縁石工		第3編 3-2-3-5 縁石工	70
	22-3-7-7		道路付属物工		第3編 3-2-3-10 道路付属物工	70
	22-3-7-8		踏掛版工	コンクリート工 ラバーシュー アンカーボルト		71
	22-3-7-9		組立歩道工			71
	22-3-7-9		組立歩道工	支柱基礎工		71
	22-3-7-10		ケーブル配管工			72
	22-3-7-10		ケーブル配管工	ハンドホール		72
	22-3-7-11		照明工	照明柱基礎工		72
第7章 木造橋						
第3節 木造橋	22-7-3 共通		木造橋(上下部構造)			73

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	1	1	植生工 (種子吹付工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工) (植生マット工) (種子筋工) (人工張芝工) (植生穴工)		
21 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	1	2	植生工 (厚層基材吹付工) (客土吹付工)		

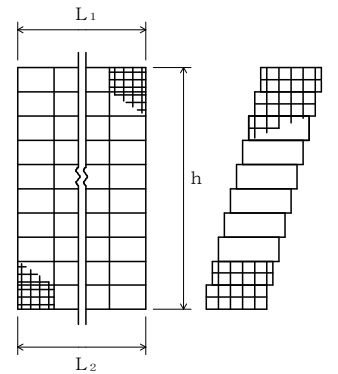
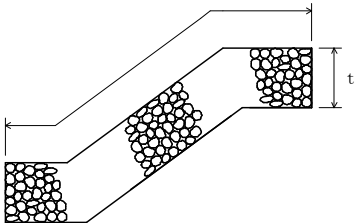
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-14-2 植生工に準ずる。		
第3編3-2-14-2 植生工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	2		区画線工		
21 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	4		視線誘導標		
21 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	5		木製構造物工	延 長 L	-100
						幅（厚さ）w1, w2	-50
						のり勾配	±0.5分
						高 さ h	-100

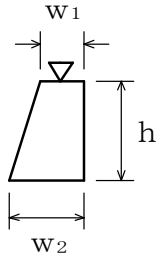
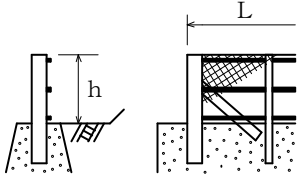
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-3-9 区画線工に準ずる。		
第3編3-2-3-10 道路付属物工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
21 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	10	1	鉄線籠工 （ふとんかご工）	高 さ h		-100
						延 長 L_1, L_2		-200
						幅（厚さ） w		-50
21 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	10	2	鉄線籠工 （じゃかご工）	法 長 ℓ	$\ell < 3 \text{ m}$	-50
							$\ell \geq 3 \text{ m}$	-100
						厚 さ t		-50
21 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	11		管きよ工 （ヒューム管） （P C管） （コルゲートパイプ） （ダクタイル鋳鉄管）			

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
第 22 編 22-2-6-7 プレキャストカルバート工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	12		杵工 (鉄筋コンクリート方杵) (片法杵工) (鋼製杵工)	基 準 高 ∇	±50
						幅 w	−30
						高 さ h	−50
						延 長 L	−200
						の り 勾 配	±0.2 分
21 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	13		鋼製柵工	高 さ h	±30
						延 長 L	−200
21 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	14		金網張工	幅 w	−200
						延 長 L	−200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
1 施工箇所毎		

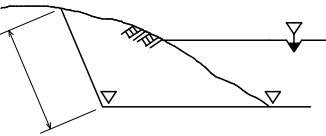
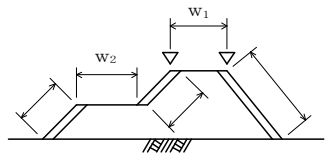
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	16	1	土留・仮締切・土のう工 (H鋼杭) (鋼矢板)		
21 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	16	2	土留・仮締切・土のう工 (アンカー工)		
21 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	16	3	土留・仮締切・土のう工 (連節ブロック張り工)		
21 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	16	4	土留・仮締切・土のう工 (締切盛土)		
21 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	16	5	土留・仮締切・土のう工 (中詰盛土)		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-10-5 土留・仮締切工 に準ずる。		
第3編3-2-10-5 土留・仮締切工 に準ずる。		
第3編3-2-10-5 土留・仮締切工 に準ずる。		
第3編3-2-10-5 土留・仮締切工 に準ずる。		
第3編3-2-10-5 土留・仮締切工 に準ずる。		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
21 治山編	1 森林整備工事の適用	6 土工	2 一般土工		掘削工、切土工	基 準 高 ▽	±50	
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	−200
							ℓ ≥ 5 m	法長−4 %
						延 長		−200
						の り 勾 配		±5 厘
21 治山編	1 森林整備工事の適用	6 土工	3 一般土工		盛土工、埋戻し	基 準 高 ▽	−50	
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	−100
							ℓ ≥ 5 m	法長−2 %
						幅 w ₁ , w ₂		−100
						延 長		−200
						の り 勾 配		±5 厘

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は掘削部の両端で測定。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は各法肩で測定。		

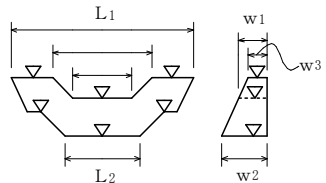
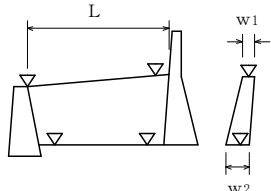
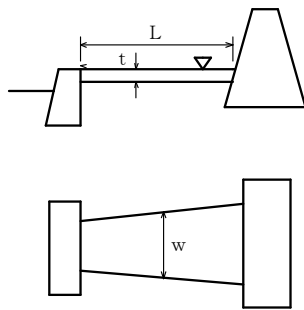
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	2 溪間工	3 工場製作工	3		鋼製ダム製作工 （仮組立時）		
21 治山編	2 溪間工	3 工場製作工	4		鋼製ダム仮設材製作工	部 材	$\pm 3 \cdots \cdots$ $\ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \cdots$ $\ell > 10$
21 治山編	2 溪間工	3 工場製作工	5		工場塗装工		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-12-3 桁製作工（鋼製えん堤製作工（仮組立時））に準ずる。		
図面の寸法表示箇所にて測定。		
第3編3-2-12-11 工場塗装工に準ずる。		

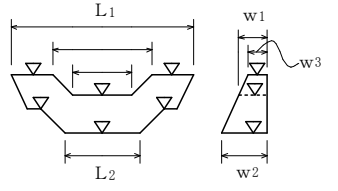
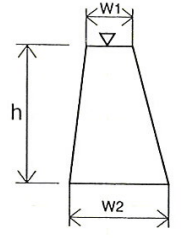
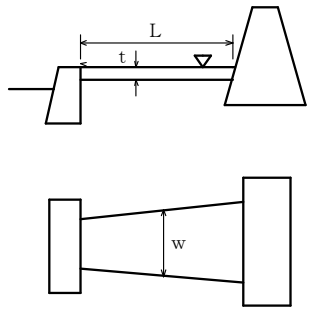
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	2 溪間工	4 コンクリートダム工	3 4		コンクリートダム本体工 コンクリート副ダム工	基 準 高 ∇	± 30
						天端部 堤 幅 w_1, w_3 w_2	-30
						水通しの幅 $\ell_1 \ell_2$	± 50
						堤 長 L_1, L_2	-100
						の り 勾 配	± 0.2 分
21 治山編	2 溪間工	4 コンクリートダム工	5 6		コンクリート側壁工 間詰工	基 準 高 ∇	± 30
						幅 w_1, w_2	-30
						長 さ L	-100
						の り 勾 配	± 0.2 分
21 治山編	2 溪間工	4 コンクリートダム工	7		水叩工	基 準 高 ∇	± 30
						幅 w	-100
						厚 さ t	-30
						延 長 L	-100

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の表示箇所にて測定。		
1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点にを測定直角な水平延長。		
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		

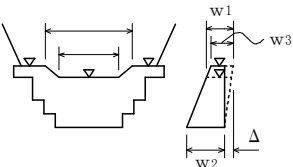
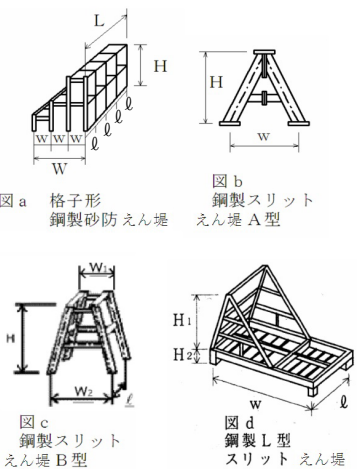
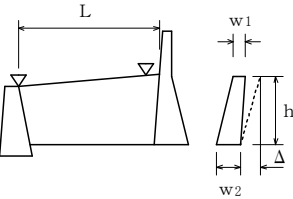
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	2 溪間工	5 木製ダム工	4		木製ダム工本体工	基 準 高 ▽	±50
						堤 長 L	±100
						幅 w ₁ , w ₃	-50
						の り 勾 配	±0.5 分
21 治山編	2 溪間工	5 木製ダム工	5		木製側壁工	基 準 高 ▽	±50
						幅 w ₁ , w ₂	-50
						延 長 L	-100
						の り 勾 配	±0.2 分
21 治山編	2 溪間工	5 木製ダム工	6 7		間詰工 水叩工	基 準 高 ▽	±50
						幅 w ₁ , w ₂	-50
						延 長 L	-100

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の表示箇所にて測定。		
1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点にを測定直角な水平延長。		
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
21 治山編	2 溪間工	6 鋼製ダム工	4		鋼製ダム本体工 (不透過型)	水 通 し 部	堤 高 ▽	±50
							長 さ ℓ	±100
							幅 w ₁ , w ₃	±50
							の り 勾 配	±0.2 分
						袖 部	袖 高 ▽	±50
							幅 w ₂	±50
							の り 勾 配	±0.2 分
21 治山編	2 溪間工	6 鋼製ダム工	4		鋼製ダム本体工 (透過型)	堤長 L (m) 格		±50
						堤長 ℓ (m) 格・B・L		±10
						堤幅 W (m) 格		±30
						堤幅 w (m) 格・B・L		±10
						堤幅 w (m) A		±10
						高さ H (m) 格・B・L		±10
						高さ H (m) A		±10
21 治山編	2 溪間工	6 鋼製ダム工	5		鋼製側壁工	堤 高 ▽		±50
						長 さ L		±100
						幅 w ₁ , w ₂		±50
						の り 勾 配		±0.2 分
						高 さ h	h < 3 m	－50
							h ≥ 3 m	－100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1. 図面の表示箇所にて測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		
測定項目の格, A, Bはそれぞれ 格: 格子形鋼製砂防えん堤 A: 鋼製スリットえん堤 A型 B: 鋼製スリットえん堤 B型 L: 鋼製L型スリットを表している。		
1. 図面に表示してある箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	2 溪間工	6 鋼製ダム工	6 7		コンクリート側壁工 間詰工		
21 治山編	2 溪間工	6 鋼製ダム工	8		水叩工		
21 治山編	2 溪間工	6 鋼製ダム工	9		現場塗装工		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 21 編 21－2－4－5, 6 コンクリート側壁工・間詰工に準ずる。		
第 21 編 21－2－4－7 水叩工に準ずる。		
第 3 編 3－2－3－31 現場塗装工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	2 溪間工	7 護岸工	3	1	コンクリート工		
21 治山編	2 溪間工	7 護岸工	3	2	木製枠工		
21 治山編	2 溪間工	7 護岸工	3	3	鋼製枠工		
21 治山編	2 溪間工	7 護岸工	3	4	コンクリートブロック工		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 21 編 21－2－4－5 コンクリート側壁工に準ずる。		
第 21 編 21－2－5－5 木製側壁工に準ずる。		
第 21 編 21－2－6－5 鋼製側壁工に準ずる。		
第 3 編 3－2－5－3 コンクリートブロック工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	2 溪間工	7 護岸工	4	1	根固工		
21 治山編	2 溪間工	7 護岸工	4	2	沈床工		
21 治山編	2 溪間工	7 護岸工	5	1	かご工 (じゃかご工)		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-3-17 根固めブロック工に準ずる。		
第3編3-2-3-18 沈床工に準ずる。		
第21編21-1-5-10 鉄線籠工（じゃかご工）に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	2 溪間工	7 護岸工	5		かご工 (ふとんかご工)		
21 治山編	2 溪間工	8 水制工	1		水制工		
21 治山編	2 溪間工	9 流路工	1		流路工		
21 治山編	2 溪間工	10 異形コンクリートブロック工	1		異形ブロック製作	幅	+20 -10
						高さ	+20 -10
						長さ	+20 -10
					異形コンクリートブロック据付		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 21 編 21-1-5-10 鉄線籠工（ふとんかご工）に準ずる。		
第 21 編 第 2 章 第 7 節 護岸工に準ずる。		
第 21 編 第 2 章 第 7 節 護岸工に準ずる。		
製作個数の 5 %		
第 3 編 3-2-3-17 根固めブロック工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	2		植生工		
21 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	3		吹付工		
21 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	4		法杵工		
21 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	5	1	かご工 (じゃかご工)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-14-2 植生工に準ずる。		
第3編3-2-14-3 吹付工に準ずる。		
第3編3-2-14-4 法杵工に準ずる。		
第21編21-1-5-10 鉄線籠工(じゃかご工) に準ずる。		

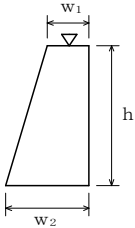
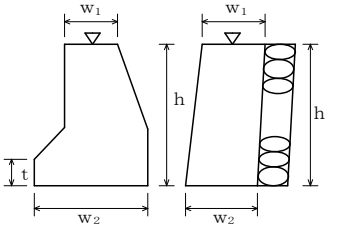
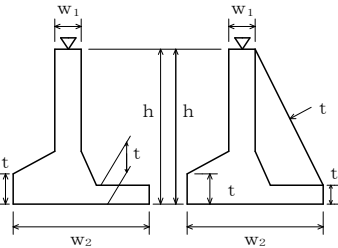
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	5	2	かご工 (ふとんかご工)		
21 治 山 編	3 山 腹 工	4 法 切 工	2		法切工		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 21 編 21－1－5－1 0 鉄線籠工（ふとんかご工）に準ずる。		
第 21 編 21－1－6－2 掘削工、切土工に準ずる。		

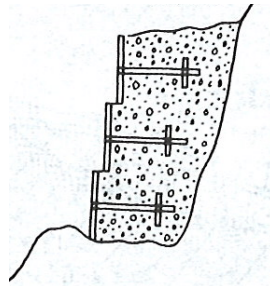
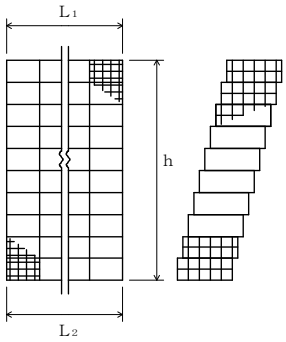
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
21 治山編	3 山腹工	5 土留工	3 4		コンクリート土留工 鉄筋コンクリート土留工	基 準 高 ▽	±50	
						厚 さ t		－20
						裏 込 厚 さ		－50
						幅 w ₁ , w ₂		－30
						高さ h	h < 3 m	－50
							h ≥ 3 m	－100
						延 長 L		－200
						の り 勾 配		±0.2 分
21 治山編	3 山腹工	5 土留工	5		石積土留工 コンクリートブロック積土留工			

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
		
第3編3-2-5-3コンクリートブロック工に準ずる。		

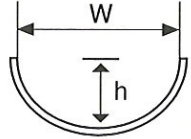
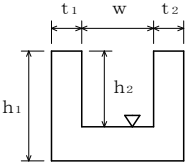
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	3 山腹工	5 土留工	6		丸太積土留工		
21 治山編	3 山腹工	5 土留工	7		コンクリート板土留工	基 準 高 ∇	± 50
						高 さ h	-50
						延 長 L	-100
21 治山編	3 山腹工	5 土留工	8		鋼製枠土留工		
21 治山編	3 山腹工	5 土留工	9		土のう積土留工	高 さ h	-100
						延 長 L_1, L_2	-200
						幅（厚さ） w	-50
						の り 勾 配	± 0.5 分

単位：mm

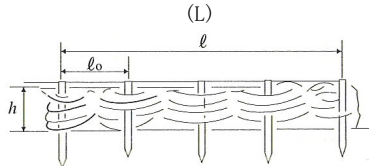
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 21 編 21-1-5-5 木製構造物工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
第 21 編 21-1-5-12 枠工に準ずる。		
		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治 山 編	3 山 腹 工	7 暗 き よ 工	2 3 4		礫暗きよ工 鉄線籠暗きよ工 二次製品暗きよ工		
21 治 山 編	3 山 腹 工	7 暗 き よ 工	5		ボーリング暗きよ工		
21 治 山 編	3 山 腹 工	8 水 路 工	2 3 5 6		張芝水路工 練張及び空張水路工 丸太柵及び編柵水路工 土のう等緑化二次製品 水路工	幅 w 高 さ h 延 長 L	－100 －50 －200
21 治 山 編	3 山 腹 工	8 水 路 工	4		鋼製及びコンクリート 二次製品水路工	基 準 高 ∇ 厚 さ t_1, t_2 幅 w 高 さ h_1, h_2 延 長 L	± 30 －20 －30 －30 －200

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3－2－3－29 側溝工に準ずる。		
第21編21－4－4－1 ボーリング暗きよ工に準ずる。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。（なお製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による）		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
21 治 山 編	3 山 腹 工	8 水 路 工	7		集水柵工			
21 治 山 編	3 山 腹 工	9 柵 工	2 3 4 5		編柵工 木柵及び丸太柵工 コンクリート板柵工 鋼製及び合成樹脂二次 製品柵工	延長 L	< 1 0 m	-200
							$\geq 1 0 \text{ m}$	-2%
						柵 高 h		-30
						杭 の 使 用 本 数		L/L_0+1 以上
						杭 間 隔 L_0		+200
						杭の末口径 D		-10%
21 治 山 編	3 山 腹 工	10 階 段 切 付 工	1		階段切付工			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-3-30 集水柵工に準ずる。		
延長は全箇所 柵高、杭間隔、杭径については、杭数の10%程度について検測する。 ただし、杭の使用本数は全数とする		
第21編21-1-6-2 掘削工、切土工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治 山 編	3 山 腹 工	11 筋 工	2 3 4 5		石筋工	高 さ h	-50
						延 長 L	-100
						幅 w	-50
						の り 勾 配	±0.5 分
					萱筋工	高 さ h	-50
						延 長 L	-100
						幅 w	-50
					丸太筋工		
					その他緑化二次製品を用いた筋工	高 さ h	-50
						延 長 L	-100
						幅 w	-50
						の り 勾 配	±0.5 分

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
延長は全箇所 施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所		
延長は全箇所 施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所		
第 21 編第 9 節柵工に準ずる。		
延長は全箇所 施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所 （製品寸法は、規格証明書等による）		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
21 治山 編	3 山 腹 工	12 伏 工	2		わら伏工 むしろ伏工 網伏工 その他二次製品を用いた伏工	法 長	S L < 5 m	-200
			3				S L ≥ 5 m	-4%
			4			延 長 L		-200
			5			植 被 率		70%以上
21 治山 編	3 山 腹 工	13 実 播 工	2		筋実播工 斜面実播工 航空実播工			
			3					
			4					
21 治山 編	3 山 腹 工	14 吹 付 工	2		種子吹付工A 種子吹付工B			
			3					
21 治山 編	3 山 腹 工	15 植 栽 工	2		植栽工 (正方形植栽等)			
			3					
			4					
						植栽本数（本）		設計数値以上
						植栽列間苗間隔		±200 ※根株等の障害物がある場合は除く
						苗木規格		設計数値以上
						植付け穴		-50
						植栽面積		-0.15%

単位：mm

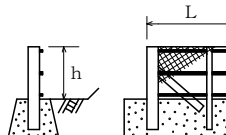
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3－2－14－2植生工に準ずる。		
第3編3－2－14－2植生工に準ずる。		
・標準地を設定：100 m ² (10m×10m)を標準 1ha未満 標準地2箇所以上 1ha以上5ha未満 標準地3箇所以上 5ha以上は5haを超える毎に1箇所 [例：24ha=3+(24-5)÷5≒7箇所] ・周囲測量図面に測定位置を記載する。		
標準地毎に2箇所		
標準地毎に2箇所		
標準地毎に2箇所		
周囲測量		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治 山 編	3 山 腹 工	15 植 栽 工	2 3 4		植栽工 (並木植え等)	植栽本数（本）	設計数値以上
						植栽列間苗間隔	±200 ※根株等の障 害物がある 場合は除く
						苗 木 規 格	設計数値以上
						植 付 け 穴	-50
						植 栽 面 積	-0.15%
					追肥	施 肥 面 積	-0.15%
						施 肥 量	設計数値以上
					補植	補 植 面 積	-0.15%
						補植本数（本）	設計数値以上

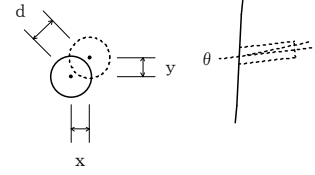
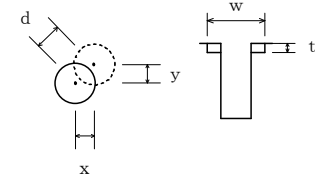
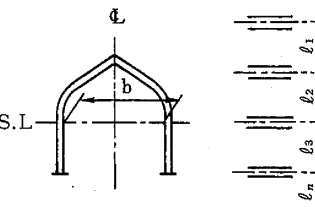
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
・ 高中木（樹種毎） 200 本未満:5% 500 本未満:4% 500 本以上:3% ・ 低木（樹種毎） 200 本未満:3% 1000 本未満:1.5% 1000 本以上:0.8% ・ 周囲測量図面に測定位置を記載する。		
標準地毎に 2 箇所		
標準地毎に 2 箇所		
標準地毎に 2 箇所		
周囲測量		
周囲測量		
空袋数		
周囲測量		
・ 標準地を設定：100 m ² (10m×10m) を 標準 1ha 未満 標準地 2 箇所以上 1ha 以上 5ha 未満 標準地 3 箇所以上 5ha 以上は 5ha を超える毎に 1 箇所 [例：24ha=3+ (24-5) ÷ 5 ≒ 7 箇所] ・ 周囲測量図面に測定位置を記載する。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治 山 編	3 山 腹 工	16 補 強 土 壁 工	1		補強土壁工 （補強土（テールアル メ）壁工法） （多数アンカー式補強 土工法） （ジオテキスタイルを 用いた補強土工法		
21 治 山 編	3 山 腹 工	17 落 石 防 止 工	3 4 6		鋼製落石防止壁工 落石防護柵工 落石防護土留工	高 さ h	±30
						延 長 L	-200
21 治 山 編	3 山 腹 工	17 落 石 防 止 工	5 7		落石防護網工 固定工（ロープ伏工）	幅 W	-200
						延 長 L	-200

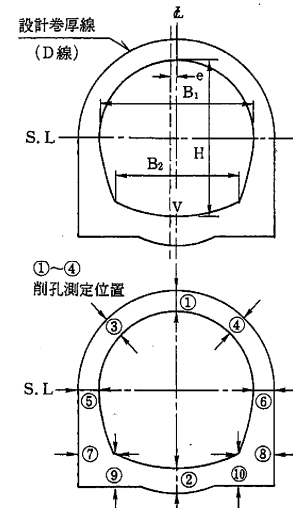
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-15-3 補強土壁工に準 ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
1 施工箇所毎		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	4 地すべり防止工	4 ボーリング暗きょ工	1		ボーリング暗きょ工	削 孔 深 さ ℓ	設計値以上
						配 置 誤 差 d	100
						せん孔方向 θ	±2.5 度
21 治山編	4 地すべり防止工	5 集水井工	3		集水井工	基 準 高 ∇	±50
						偏 心 量 d	150
						長 さ L	-100
						巻 立 て 幅 w	-50
						巻立て厚さ t	-30
21 治山編	4 地すべり防止工	6 排水トンネル工	3		支保工	設 置 間 隔	±75
						幅 b (B タイプ)	-0
						幅 b (C・D タイプ)	-40

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
間隔、幅は、全基数について測定する。 支保工幅の測定時期は、原則として建込み直後及び覆工前の2回とする。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	4 地すべり防止工	6 排水トンネル工	5		覆工	基準高▽	±50
						幅 W	-0
						厚 さ t	-40
						高 さ h	-40
						中心線のズレ	直線部 ±100
						中心線のズレ	曲線部 ±150
						施工延長	150m未満 -150 150m以上 -0.1%
21 治山編	4 地すべり防止工	7 排土及び押え盛土工	2 3		排土工		
					押え盛土工		
21 治山編	4 地すべり防止工	8 杭工	2		鋼管杭 合成杭		

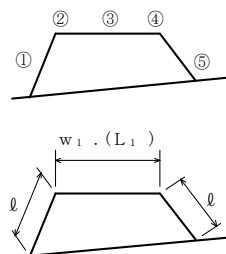
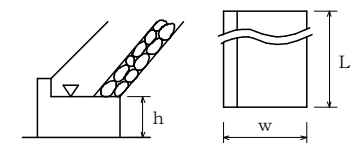
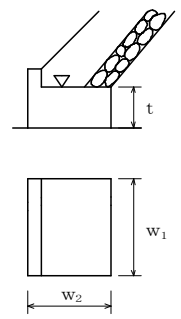
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1. 基準高、厚さ、幅、高さについては、1スパンにつき1箇所の割合で測定する。 2. 巻 厚 (1) コンクリート打設前の巻立空間を1スパンの終点において図に示す①～⑩の各点で測定する。 (2) コンクリート打設後の覆工コンクリートについて1スパンの端部（施工継目）において図に示す①～⑩の各点で測定する。 (3) 削孔による巻厚の測定は、図の①において50mにつき1箇所、②③④において100mにつき1箇所の割合で行う。 ただしmトンネル延長が100m未満のものについては2箇所以上の以上の削孔を行い巻厚測定を行う。 3. 中心線のズレ 直線部は50mにつき1箇所、曲線部は1スパンにつき1箇所の割合で測定する。		
第3編3-2-14-2 掘削工、切土工に準ずる。		
第3編3-2-14-3 盛土工、埋戻しに準ずる。		
第3編3-2-4-4 既製杭工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	4 地すべり防止工	9 シャフト工 深礎工	1		シャフト工（深礎工）		
21 治山編	4 地すべり防止工	10 アンカー工	2		アンカー工		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-4-6 深礎工に準ずる。		
第3編3-2-14-6 アンカー工に準ずる。		

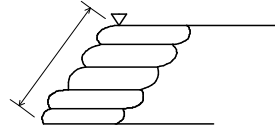
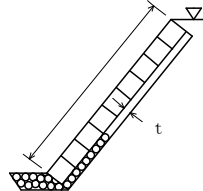
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	
21 治山編	5 海岸防 災林造成	4 護岸基礎工	4		捨石工	基準高▽	本 均 し	±50	
							表 面 均 し		±100
							荒均し	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500
								異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300
							被覆均し	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500
								異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300
						法 長 ℓ		－100	
						天 端 幅 w_1		－100	
天 端 延 長 L_1		－200							
21 治山編	5 海岸防 災林造成	4 護岸基礎工	5		場所打コンクリート工	基 準 高 ▽	±30		
						幅 w	－30		
						高 さ h	－30		
						延 長 L	－200		
21 治山編	5 海岸防 災林造成	4 護岸基礎工	6		海岸コンクリートブロック工	基 準 高 ▽	±50		
						ブロック厚 t	－20		
						ブロック縦幅 w_1 ブロック横幅 w_2	－20 －20		
						延 長 L	－200		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。  幅は施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 		
ブロック個数 40 個につき 1 箇所の割で測定。基準高、延長は施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 		

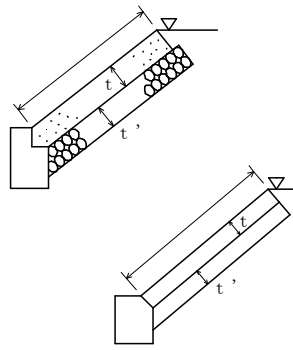
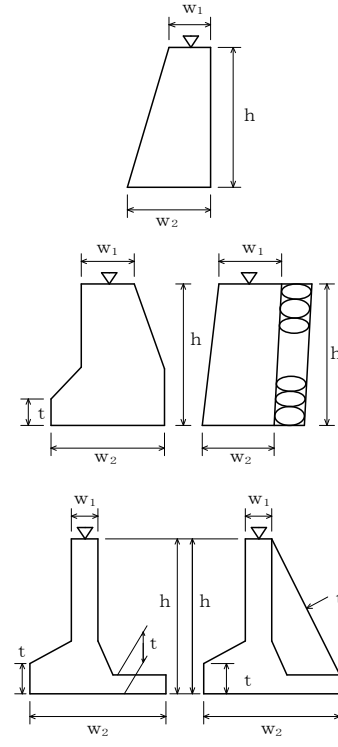
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	5 海岸 防災 林造成	4 護岸 基礎工	7	1	笠コンクリート工		
21 治山編	5 海岸 防災 林造成	4 護岸 基礎工	7	2	笠コンクリート工 (プレキャスト笠コン クリート)		
21 治山編	5 海岸 防災 林造成	4 護岸 基礎工	8	1	基礎工		
21 治山編	5 海岸 防災 林造成	4 護岸 基礎工	8	2	基礎工 (プレキャスト基礎工)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-4-3 基礎工に準ずる。		
第3編3-2-4-3 法留基礎工に準ずる。		
第3編3-2-4-3 法留基礎工に準ずる。		
第3編3-2-4-3 法留基礎工に準ずる。		

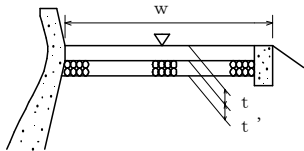
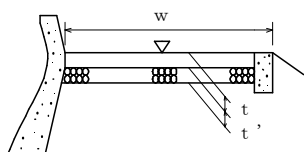
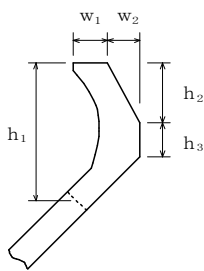
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
21 治山編	5 海岸防 災林造 成	4 護岸基 礎工	9		矢板工			
21 治山編	5 海岸防 災林造 成	5 護岸工	3		捨石張り工	基 準 高 ▽		±50
						法長 ℓ	ℓ < 3 m	－50
							ℓ ≥ 3 m	－100
						延 長 L		－200
21 治山編	5 海岸防 災林造 成	5 護岸工	4		石張り・石積み工			
21 治山編	5 海岸防 災林造 成	5 護岸工	5		海岸コンクリートブ ロック工（製作）			
					海岸コンクリートブ ロック工	基 準 高 ▽		±50
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	－100
							ℓ ≥ 5 m	ℓ × （－2 %）
					厚 さ t		－50	
延 長 L		－200						

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-3-4矢板工に準ずる。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
第3編3-2-5-5石積（張）工に準ずる。		
第21編第2章第10節異形ブロック製作に準ずる。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

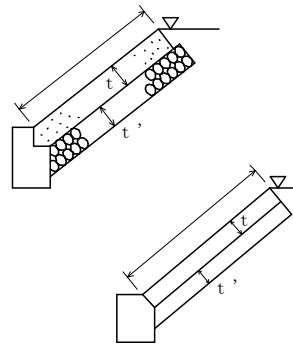
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
21 治山編	5 海岸防 災林 造成	5 護岸工	6		コンクリート被覆工	基 準 高 ▽		±50
						法長 ℓ	ℓ < 3 m	－50
							ℓ ≥ 3 m	－100
						厚さ t	t < 100	－20
							t ≥ 100	－30
						裏 込 材 厚 t'		－50
						延 長 L		－200
21 治山編	5 海岸防 災林 造成	5 護岸工	7		現場打擁壁工	基 準 高 ▽		±50
						厚 さ t		－20
						裏 込 厚 さ		－50
						幅 w ₁ , w ₂		－30
						高さ h	h < 3 m	－50
							h ≥ 3 m	－100
						延 長 L		－200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 		

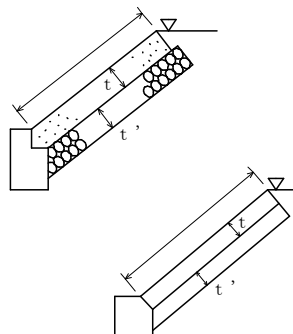
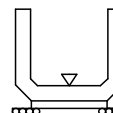
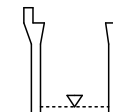
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	6 天 端 被 覆 工	2		コンクリート被覆工	基 準 高 ∇	± 50
						幅 w	-50
						厚 さ t	-10
						基 礎 厚 t'	-45
						延 長 L	-200
21 治山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	6 天 端 被 覆 工	3		アスファルト被覆工	基 準 高 ∇	± 50
						幅 w	-50
						厚 さ t	-9
						基 礎 厚 t'	-45
						延 長 L	-200
21 治山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	7 波 返 工	3		波返工	基 準 高 ∇	± 50
						幅 w_1, w_2	-30
						高さ $h < 3\text{ m}$ h_1, h_2, h_3	-50
						高さ $h \geq 3\text{ m}$ h_1, h_2, h_3	-100
						延 長 L	-200
21 治山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	8 裏 法 被 覆 工	2		石積（張）工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さはコアー1000 m ² に 1 箇所		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
第3編3-2-5-5 石積（張）工に準ずる。		

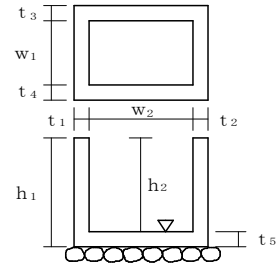
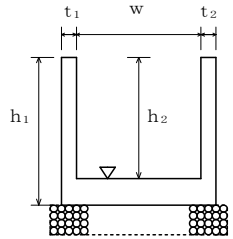
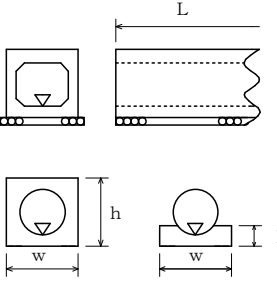
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	5 海岸防 災林造成	8 裏法被 覆工	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック張り) (コンクリートブロック積み)		
21 治山編	5 海岸防 災林造成	8 裏法被 覆工	3	2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)		
21 治山編	5 海岸防 災林造成	8 裏法被 覆工	4		コンクリート被覆工	基準高 ∇ 法長 l $l < 3\text{ m}$ $l \geq 3\text{ m}$ 厚さ t $t < 100$ $t \geq 100$ 裏込材厚 t' 延長 L	± 50 -50 -100 -20 -30 -50 -200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-5-3 コンクリートブロック工に準ずる。		
第3編3-2-5-3 コンクリートブロック工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		

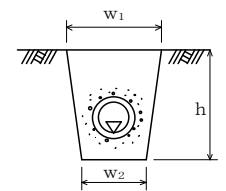
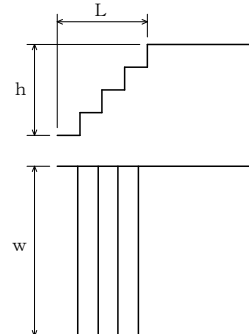
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
21 治山 編	5 海 岸 林 造 成	8 裏 法 被 覆 工	5		アスファルト被覆工	基 準 高 ▽		±50
						法 長 ℓ	ℓ < 3 m	－50
							ℓ ≥ 3 m	－100
						厚 さ t	t < 100	－20
							t ≥ 100	－30
						裏 込 材 厚 t'		－50
						延 長 L		－200
21 治山 編	5 海 岸 林 造 成	8 裏 法 被 覆 工	6		法枠工 (現場打法枠工) (プレキャスト法枠工) (現場吹付法枠工)			
21 治山 編	5 海 岸 林 造 成	9 排 水 構 造 物 工	3	1	側溝工 (プレキャストU型側 溝)	基 準 高 ▽		±30
						延 長 L		－200
21 治山 編	5 海 岸 林 造 成	9 排 水 構 造 物 工	3	2	側溝工 (自由勾配側溝)	基 準 高 ▽		±30
						延 長 L		－200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
第3編 3-2-14-4 法枠工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	4		集水桝工	基 準 高 ∇	± 30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20
						※幅 w_1, w_2	-30
						※高さ h_1, h_2	-30
21 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	5		堤脚水路工	基 準 高 ∇	± 30
						厚さ t_1, t_2	-20
						幅 w	-30
						高さ h_1, h_2	-30
						延 長 L	-200
21 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	6	1	管渠工 (プレキャストパイプ) (プレキャストボックス)	基 準 高 ∇	± 30
						※幅 w	-50
						※高 さ h	-30
						延 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所毎 ※は現場打部分のある場合		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 なお、製品使用の場合は、製品寸法については規格証明書等による。		
1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	6	2	管渠工 (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	基 準 高 ∇	±30
						幅 w_1, w_2	−50
						高 さ h	−30
						延 長 L	−200
21 治山編	5 海岸林造成	10 付属物設置工	4		階段工	幅 w	−30
						高 さ h	−30
						長 さ L	−30
						段 数	±0段
21 治山編	5 海岸林造成	10 付属物設置工	5		防止柵工		
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	4	1	アスファルト舗装工 (下層路盤)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
1 回／1 施工箇所		
第3編3-2-3-7 防止柵工に準ずる。		
第3編3-2-6-7 アスファルト舗装工に準ずる。		

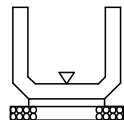
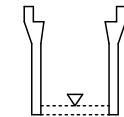
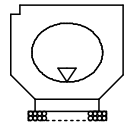
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	4	2	アスファルト舗装工 （上層路盤）		
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	4	3	アスファルト舗装工 （基層）		
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	4	4	アスファルト舗装工 （表層）		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-6-7アスファルト舗装工に準ずる。		
第3編3-2-6-7アスファルト舗装工に準ずる。		
第3編3-2-6-7アスファルト舗装工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	5	1	コンクリート舗装工 （下層路盤）		
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	5	2	コンクリート舗装工 （上層路盤）		
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	5	3	コンクリート舗装工 （コンクリート舗装）		
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	6	1	薄層カラー舗装工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-6-12 コンクリート舗装工に準ずる。		
第3編3-2-6-12 コンクリート舗装工に準ずる。		
第3編3-2-6-12 コンクリート舗装工に準ずる。		
第3編3-2-6-13 薄層カラー舗装工に準ずる。		

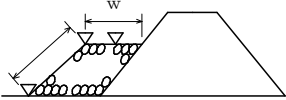
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山 編	5 海 岸 林 造 成	11 付 帯 道 路 工	7	1	側溝工 （プレキャストU型側 溝）	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200
21 治山 編	5 海 岸 林 造 成	11 付 帯 道 路 工	7	2	側溝工 （L型側溝）	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200
21 治山 編	5 海 岸 林 造 成	11 付 帯 道 路 工	7	3	側溝工 （自由勾配側溝）	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200
21 治山 編	5 海 岸 林 造 成	11 付 帯 道 路 工	7	4	側溝工 （管渠）	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	8		集水桝工	基 準 高 ∇	± 30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20
						※幅 w_1, w_2	-30
						※高さ h_1, h_2	-30
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	9		縁石工		
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	10		小型標識工		
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	11		路側防護柵工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所毎 ※は現場打部分のある場合		
第3編3-2-3-5 縁石工に準ずる。		
第3編3-2-3-6 小型標識工に準ずる。		
第3編3-2-3-8 路側防護柵工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	12		区画線工		
21 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	14		道路付属物工		
21 治山編	5 海岸林造成	12 根固め工	2		捨石工（根固め工）	基準高▽ 異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500
						異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300
						法 長 l	－100
						天 端 幅 w	－100
						天 端 延 長 L	－200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-3-9 区画線工に準ずる。		
第3編3-2-3-10 道路付属物工に準ずる。		
施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。 幅は施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
21 治山編	5 海岸林造成	12 根固工	3		根固ブロック工 (製作)			
					根固ブロック工	層 積	基準高▽	±300
							厚 さ t	-20
							幅 w_1, w_2	-20
							延長 $L_1 L_2$	-200
					乱 積	基準高▽	± t / 2	
延長 $L_1 L_2$	- t / 2							
21 治山編	5 海岸林造成	13 消波工	2		捨石工（消波工）	基準 高 ▽	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500
							異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300
						法 長 ℓ		－100
						天 端 幅 w		－100
						天 端 延 長 L		－200
21 治山編	5 海岸林造成	13 消波工	3		消波ブロック工 (製作)			
					消波ブロック工			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第21編第2章第10節異形ブロック製作に準ずる。 施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 幅、厚さは 40 個につき 1 箇所測定。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎	t はブロックの高さ	
施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。 幅は施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		
第21編第2章第10節異形ブロック製作に準ずる。 第21編 21-5-12-3 根固ブロック工に準ずる。		

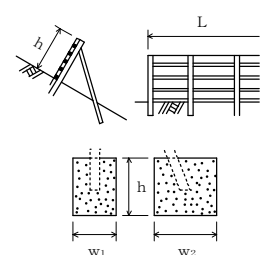
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	5 海岸林造成	14 砂丘造成	1		堆砂工 (堆砂垣・丘頂柵工)		
21 治山編	5 海岸林造成	14 砂丘造成	2		盛土工		
21 治山編	5 海岸林造成	14 砂丘造成	3		覆砂工 (伏工・砂草植栽)		
21 治山編	5 海岸林造成	14 砂丘造成	4		実播工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 21 編 第 3 章 第 9 節 柵工に準ずる。		
第 1 編 1－2－3－3 盛土工に準ずる。		
第 21 編 第 3 章 第 12 節 伏工に準ずる。		
第 21 編 第 3 章 第 13 節 実播工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
21 治山編	5 海岸林造成	15 森林造成	1		生育基盤盛土工	基 準 高 ▽		-50
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	-100
							ℓ ≥ 5 m	法長－ 2 %
						幅 w		-100
21 治山編	5 海岸林造成	15 森林造成	2 4		防風工 静砂工（静砂垣）	高 さ H		-30
						延 長 L		-2. 0%
21 治山編	5 海岸林造成	15 森林造成	3		排水工			
21 治山編	5 海岸林造成	15 森林造成	5		植栽工			
21 治山編	5 海岸林造成	16 防風林の造成	1		防風柵			
21 治山編	5 海岸林造成	16 防風林の造成	2		水路工			
21 治山編	5 海岸林造成	16 防風林の造成	2		暗きょ工			
21 治山編	5 海岸林造成	16 防風林の造成	3		植栽工			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は各法肩で測定。		
施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所 延長は全箇所 （製品寸法は、規格証明書等による）		
第 21 編第 3 章第 8 節水路工に準ずる。		
第 21 編第 3 章第 15 節植栽工に準ずる。		
第 21 編第 3 章第 9 節柵工に準ずる。		
第 21 編第 3 章第 8 節水路工に準ずる。		
第 21 編第 3 章第 7 節暗きょ工に準ずる。		
第 21 編第 3 章第 15 節植栽工に準ずる。		

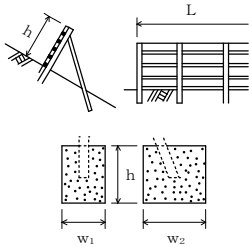
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	5 海岸 防災 林造成	17 異形 コン クリ ート ブロ ック 工	1 2		異形コンクリートブロック工		
21 治山編	6 なだ れ防 止林 造成	5 雪び 予防 工	1		吹きだめ柵 吹き払い柵	高 さ h	±30
						延 長 L	－200
						基礎 幅 w ₁ , w ₂	－30
						高 さ h	－30
21 治山編	6 なだ れ防 止林 造成	6 なだ れ防 止工	1		階段工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 21 編第 2 章第 10 節異形コンクリートブロック工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 基礎 1 基毎		
第 21 編 21－1－6－2 掘削工、切土工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山 編	6 な だ れ 防 止 林 造 成	6 な だ れ 予 防 工	2		予防柵 防止柵	基 準 高 ▽	±50
						高 さ H	±30
						幅 W	－30
						列間射距離 L 1	設計値以内
						水平間隔 L 2	設計値以内
						基礎	
						幅 W1～W10	－30
						高さ h1～h5	－30
21 治山 編	6 な だ れ 防 止 林 造 成	6 な だ れ 予 防 工	3		吊柵 吊枠		
21 治山 編	6 な だ れ 防 止 林 造 成	6 な だ れ 予 防 工	5		誘導擁壁		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 基毎 床掘完了時は、w2、w3、w6、w7、w8、w9、w10、h2、h3、h4、h5で測定。 基礎コン出来形については、w1、w3、w4、w5、w7、w8、w10、h1、11、12で測定。		
第 21 編第 3 章 17 節落石防止工に準ずる。		
第 21 編第 3 章第 5 節土留工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
21 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	6		誘導柵	高 さ h		±30
						延 長 L		－200
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	－30
							高 さ h	－30
21 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	7		減勢杭	杭 間 隔		±100
						高 さ h		－100
						根 入 長		設計値以上
21 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	7		減勢柵工			
21 治山編	6 なだれ防止林造成	7 防護工	1		防護擁壁			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 基礎 1 基毎		
全数		
第 21 編 21－1－5－12 柵工（鉄筋コンクリート方格柵）に準ずる。		
第 21 編 第 3 章 第 5 節 土留工に準ずる。		

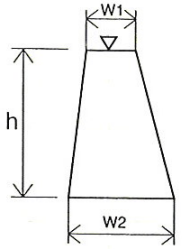
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21 治山編	6 なだれ防止林造成	7 防護工	2		防護柵		
21 治山編	6 なだれ防止林造成	8 グライド防止工	1		木柵階段工		
21 治山編	6 なだれ防止林造成	9 森林造成	1		植栽工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 21 編 21－6－6－2 予防柵・防止柵に準ずる。		
第 21 編 21－1－6－2 掘削工、切土工及び第 21 編 21－3－9－3 木柵及び丸太柵工に準ずる。		
第 21 編 第 3 章 第 15 節 植栽工に準ずる。		

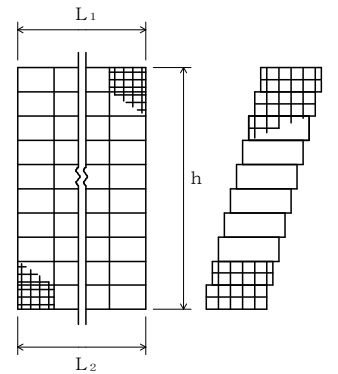
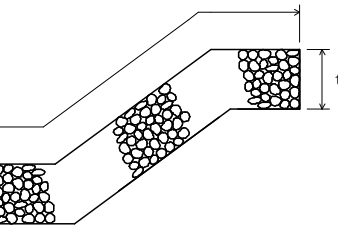
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	1	1	植生工 (種子吹付工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工) (植生マット工) (種子筋工) (人工張芝工) (植生穴工)		
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	1	2	植生工 (厚層基材吹付工) (客土吹付工)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-14-2 植生工に準ずる。		
第3編3-2-14-2 植生工に準ずる。		

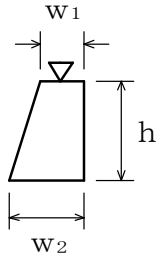
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	2		区画線工		
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	4		視線誘導標		
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	5		木製構造物工	延 長 L	-100
						幅（厚さ）w1, w2	-50
						の り 勾 配	±0.5 分
						高 さ h	-100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-3-9 区画線工に準ずる。		
第3編3-2-3-10 道路付属物工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	10	1	鉄線籠工 (ふとんかご工)	高 さ h		-100
						延 長 L_1, L_2		-200
						幅 (厚さ) w		-50
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	10	2	鉄線籠工 (じゃかご工)	法 長 ℓ	$\ell < 3 \text{ m}$	-50
							$\ell \geq 3 \text{ m}$	-100
						厚 さ t		-50
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	11		管きょ工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
第 22 編 22-2-6-7 プレキャストカルバート工に準ずる。		

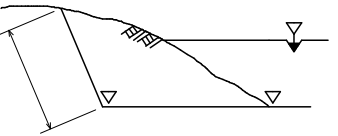
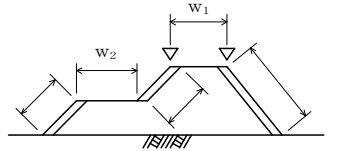
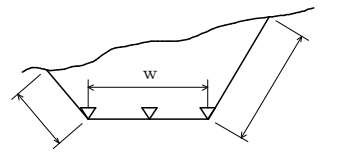
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	12		杵工 (鉄筋コンクリート方杵) (片法杵工) (鋼製杵工)	基 準 高 ∇	±50
						幅 w	－30
						高 さ h	－50
						延 長 L	－200
						の り 勾 配	±0.5 分
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	13		鋼製柵工		
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	14		金網張工	幅 w	－200
						延 長 L	－200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 		
第 21 編 21－1－5－13 鋼製柵工に準ずる		
1 施工箇所毎		

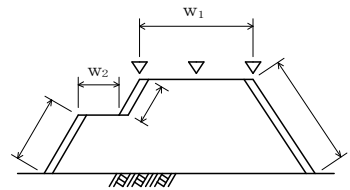
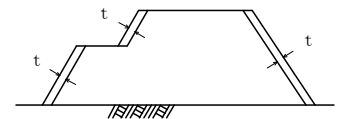
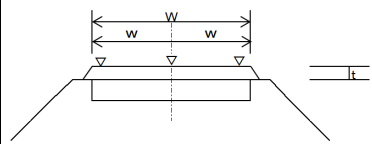
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	15	1	土留・仮締切・土のう工 (H鋼杭) (鋼矢板)		
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	15	2	土留・仮締切・土のう工 (アンカー工)		
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	15	3	土留・仮締切・土のう工 (連節ブロック張り工)		
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	15	4	土留・仮締切・土のう工 (締切盛土)		
22 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	15	5	土留・仮締切・土のう工 (中詰盛土)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-10-5 土留・仮締切工に準ずる。		
第3編3-2-10-5 土留・仮締切工に準ずる。		
第3編3-2-10-5 土留・仮締切工に準ずる。		
第3編3-2-10-5 土留・仮締切工に準ずる。		
第3編3-2-10-5 土留・仮締切工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
22 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	2 一般土工		掘削工、切土工	基 準 高 ▽		±50
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	-200
							ℓ ≥ 5 m	法長－4 %
						延 長		-200
						の り 勾 配		± 5 厘
22 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	3 一般土工		盛土工、埋戻し	基 準 高 ▽		－50
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	－100
							ℓ ≥ 5 m	法長－2 %
						幅 w ₁ , w ₂		－100
						延 長		-200
						の り 勾 配		± 5 厘
22 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	8 道路土工		掘削工、切土工	基 準 高 ▽		±50
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	－200
							ℓ ≥ 5 m	法長－4 %
						幅 w		－100
						の り 勾 配		± 5 厘

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は掘削部の両端で測定。		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は各法肩で測定。		
施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
22 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	9 10 道路土工	2	盛土工 (路床、路体 :舗装施工) 盛土工 (砂利施工)	基 準 高 ▽		±50
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	－100
							ℓ ≥ 5 m	法長－2 %
						幅 w ₁ , w ₂		－100
						の り 勾 配		± 5 厘
22 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	9 10 道路土工	3	法面整形工（盛土工）	厚 さ t		※－30
22 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	道路土工 (共通)	4	路線、縦断	I P 測点	コンパス	± 1 °
							トランシット	±30'
						IP 間の距離		40m ≤ ±200mm 40m > ±1/200
						各測点間距離		±100
						総延長距離		－500
						直線区間の寄り		100
						施工基面高		±100
22 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	道路土工 (共通)	5	上層路盤工（砂利施工）	基 準 高 ▽		±50
						敷 厚		－20
						敷 幅		－50

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。		
施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		
全測点を測定する。		
施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所 平均値は設計厚以上 基準高は延長 40m ごとに 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	1 森林整備工事の適用	7 土工	道路土工 （共通）	6	下層路盤工（砂利施工）	基準高▽	±50
						敷 厚	-20
						敷 幅	-50
22 林道編	1 森林整備工事の適用	8 土工	道路土工 （共通）	7	コンクリート路面工	基準高▽	±50
						敷 厚	-10
						敷 幅	-25
22 林道編	1 森林整備工事の適用	9 土工	道路土工 （共通）	8	コンクリート路面工 （路盤工）	基準高▽	±50
						敷 厚	-20
						敷 幅	-50

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所 平均値は設計厚以上 基準高は延長 40m ごとに 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。		
敷幅 80m につき 1 箇所。 敷厚 200m に 1 箇所の割合でコア若しくは端部で測定。 ただし、1 施工箇所で 3 箇所以上測定すること。 基準高は延長 40m ごとに 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。		
施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所 平均値は設計厚以上 基準高は延長 40m ごとに 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	2 道路工事	4 法面工	2		植生工		
22 林道編	2 道路工事	4 法面工	3		法面吹付工 (コンクリート) (モルタル)		
22 林道編	2 道路工事	4 法面工	4		法枠工		
22 林道編	2 道路工事	4 法面工	6 8		アンカー工 アンカー工 (プレキャストコンクリート板)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-14-2 植生工に準ずる。		
第3編3-2-14-3 吹付工に準ずる。		
第3編3-2-14-4 法枠工に準ずる。		
第3編3-2-14-6 アンカー工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	2 道路工事	4 法面工	7		かご工 (じゃかご)		
22 林道編	2 道路工事	4 法面工	7		かご工 (ふとんかご)		
22 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	3		既製杭工		
22 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	4		場所打杭工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 22 編 22－1－5－10 鉄線籠工（じゃかご工）に準ずる		
第 22 編 22－1－5－10 鉄線籠工（ふとんかご工）に準ずる		
第 3 編 3－2－4－4 既製杭工に準ずる。		
第 3 編 3－2－4－5 場所打杭工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
22 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	5		場所打擁壁工	基 準 高 ∇	± 50	
						厚 さ t	-20	
						裏 込 厚 さ	-50	
						幅 w_1, w_2	-30	
						高さ h	$h < 3 \text{ m}$	-50
							$h \geq 3 \text{ m}$	-100
						延 長 L	-200	
						のり勾配		$\pm 0.2 \text{ 分}$
22 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	6		プレキャスト擁壁工			

単位：mm

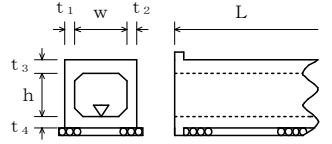
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
第3編 3-2-15-2 プレキャスト擁壁工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	7		補強土壁工 （補強土（テールアルメ）壁工法） （多数アンカー式補強土工法） （ジオテキスタイルを用いた補強土工法）		
22 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	8		井桁ブロック工		
22 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	9		コンクリートブロック 擁壁工		
22 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	10		石積（張）工		
22 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	11 12 13		かご擁壁工 鋼製擁壁工 簡易鋼製土留擁壁工		
22 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	14		木製土留・擁壁工		

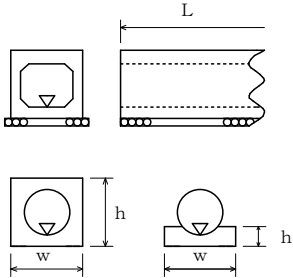
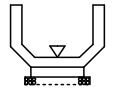
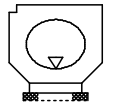
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-15-3 補強土壁工に準ずる。		
第3編3-2-15-4 井桁ブロック工に準ずる。		
第3編3-2-5-3 コンクリートブロック工に準ずる。		
第3編3-2-5-5 石積（張）工に準ずる。		
第22編22-1-5-12 枠工に準ずる。		
第22編22-1-5-5 木製構造物工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
22 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	15		土のう積工			
22 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	16		土留・仮締切工			
22 林道編	2 道路工事	6 カルバート工	6		場所打函渠	基 準 高 ▽		±30
						厚さ $t_1 \sim t_4$		－20
						幅（内法） w		－30
						高 さ h		±30
						延長 L	L < 20m	－50
							L ≥ 20m	－100

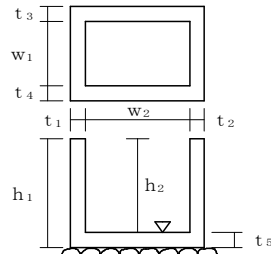
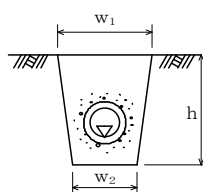
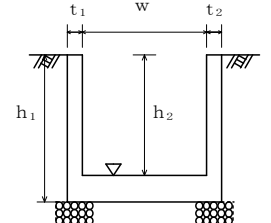
単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 21 編 21－3－5－9 土のう積土留工に準ずる。		
第 22 編 22－1－5－16 土留・仮締切り・土のう工に準ずる。		
両端、施工継手及び図面の寸法表示箇所 で測定		

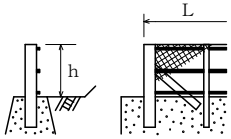
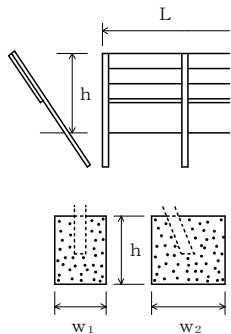
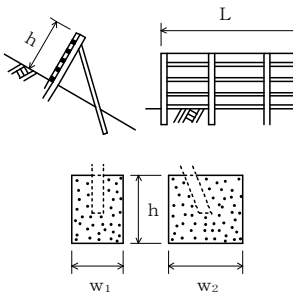
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	2 道路工事	6 カルバート工	7		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	基 準 高 ▽	±30
						※幅 w	－50
						※高 さ h	－30
						延 長 L	－200
22 林道編	2 道路工事	6 カルバート工	9		土留・仮締切工		
22 林道編	2 道路工事	7 排水施設工	3		側溝工 (プレキャストU型側溝) (コルゲートフリューム) (自由勾配側溝)	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200
22 林道編	2 道路工事	7 排水施設工	4		管渠工	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 ※印は、場所打のある場合。 1 施工箇所毎		
第 22 編 22－1－5－16 土留・仮締切・土のう工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	2 道路工事	7 排水施設工	5		集水桝	基 準 高 ∇	± 30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20
						※幅 w_1, w_2	-30
						※高さ h_1, h_2	-30
22 林道編	2 道路工事	7 排水施設工	6		地下排水工	基 準 高 ∇	± 30
						幅 w_1, w_2	-50
						深 さ h	-30
						延 長 L	-200
22 林道編	2 道路工事	7 排水施設工	7		現場打（組立）水路工	基 準 高 ∇	± 30
						厚 さ t_1, t_2	-20
						幅 w	-30
						高 さ h_1, h_2	-30
22 林道編	2 道路工事	8 落石雪害防止工	4		落石防止網工	延 長 L	-200
						幅 w	-200
						延 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所毎 ※は、場所打部分のある場合		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
22 林道編	2 道路工事	8 落石 雪害 防止工	5		落石防護柵工	高 さ h		±30
						延 長 L		－200
22 林道編	2 道路工事	8 落石 雪害 防止工	6		防雪柵工	高 さ h		±30
						延 長 L		－200
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	－30
							高 さ h	－30
22 林道編	2 道路工事	8 落石 雪害 防止工	7		雪崩予防柵工	高 さ h		±30
						延 長 L		－200
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	－30
							高 さ h	－30
						アン カー 長 ℓ	打 込 み ℓ	－10%
							埋 込 み ℓ	－5%

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 基礎 1 基毎		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 基礎 1 基毎 全数		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値 の平均 (X_{10})	
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下
22 林道編	3 舗装	3 舗装工	6		半たわみ性舗装工					
22 林道編	3 舗装	3 舗装工	7		排水性舗装工					

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-6-8 半たわみ性舗装工に準ずる。		
第3編3-2-6-9 排水性舗装工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値 の平均 ($\bar{X}_{10}$)	
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下
22 林道 編	3 舗 装 工	3 舗 装 工	9		グースアスファルト 舗装工					
22 林道 編	3 舗 装 工	3 舗 装 工	10		コンクリート舗装工					
22 林道 編	3 舗 装 工	3 舗 装 工	11		薄層カラー舗装工					
22 林道 編	3 舗 装 工	3 舗 装 工	12		ブロック舗装工					

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編 3-2-6-11 グースアスファルト舗装工に準ずる。		
第3編 3-2-6-12 コンクリート舗装工に準ずる。		
第3編 3-2-6-13 薄層カラー舗装工に準ずる。		
第3編 3-2-6-14 ブロック舗装工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値 の平均 ($\bar{X}_{10}$)
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上
22 林道 編	3 舗装	3 舗装工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	基準高▽	±50		—
						厚 さ	t < 15cm	－30	－10
							t ≥ 15cm	－45	－15
						幅	－100		—
22 林道 編	3 舗装	3 舗装工			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	厚 さ	－9		－3
						幅	－25		—
						▽基準高	±30		—

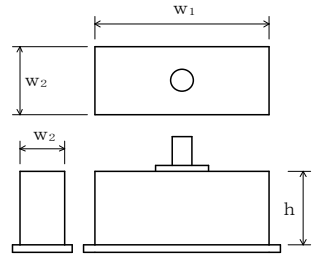
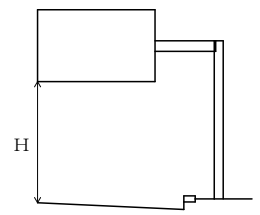
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
基準高は片側延長 40m 毎に 1 箇所の割で測定。 厚さは、片側延長 200m 毎に 1 箇所掘り起こして測定。 幅は、片側延長 80m 毎に 1 箇所測定。 ※両端部 2 点で測定する。	○施工規模の考え方 ・中規模以上の工事とは、1 層あたりの施工面積が 2,000m² 以上かつ使用する 基層および表層用混合物の総使用量が 500t 以上の場合。 ・小規模工事とは、1 層あたりの施工面積が 2,000m² 未満または使用する 基層および表層用混合物の総使用量が 500t 未満(コンクリートでは 400m³ 未満) ○厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 ($\bar{X}_{10}$) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータが 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
幅は、片側延長 80m 毎に 1 箇所の割で測定。厚さは、片側延長 200m 毎に 1 箇所コアーを採取して測定。 基準高は延長 40m ごとに 1 箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	3 舗装	4 路面排水工	3	4	側溝工 (L型街渠工) (L0型街渠工) (プレキャストU型側溝工) (管(函)渠型側溝工) 管渠工	基 準 高 ∇	±30
						延 長 L	－200
22 林道編	3 舗装	4 路面排水工	5		街渠樹・マンホール工 (街渠樹工) (マンホール工)	基 準 高 ∇	±30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	－20
						※幅 w_1, w_2	－30
						※高さ h_1, h_2	－30
22 林道編	3 舗装	4 路面排水工	6		排水性舗装用路肩排水工	基 準 高 ∇	±30
						延 長 L	－200
22 林道編	3 舗装	5 防護柵工	3		路側防護柵工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 箇所／1 施工箇所		
1 箇所／施工延長 40m ※は現場打部分のある場合		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 箇所／1 施工箇所		
第3編3－2－3－8 路側防護柵工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	3 舗装	5 防護柵工	4		防止柵工		
22 林道編	3 舗装	6 標識工	3		小型標識工		
22 林道編	3 舗装	6 標識工	4		土留・仮締切工		
22 林道編	3 舗装	6 標識工	5		大型標識工 （標識基礎工）	幅 w_1, w_2	－30
						高 さ h	－30
22 林道編	3 舗装	6 標識工	5		大型標識工 （標識柱工）	設置高さ H	設計値以上

単位：mm

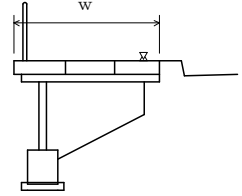
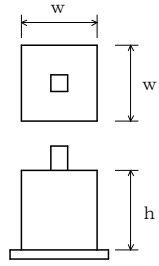
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-3-7 防止柵工に準ずる。		
第3編3-2-3-6 小型標識工に準ずる。		
第3編3-2-10-5 土留・仮締切工に準ずる。		
基礎一基毎		
1 箇所／1 基		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	3		区画線工		
22 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	4		縁石工		
22 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	7		道路付属物工		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第3編3-2-3-9 区画線工に準ずる。		
第3編3-2-3-5 縁石工に準ずる。		
第3編3-2-3-10 道路付属物工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	8		踏掛版工 (コンクリート工)	基 準 高	±20
						各 部 の 厚 さ	±20
						各 部 の 長 さ	±30
					(ラバーシュー)	各 部 の 長 さ	±20
						厚 さ	
					(アンカーボルト)	中 心 の ず れ	±20
						ア ン カ ー 長	±20
22 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	9		組立歩道工	基 準 高 ▽	±30
						幅 w	－30
						延 長 L	－200
22 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	9		組立歩道工 (支柱基礎工)	幅 w	－30
						高 さ h	－30

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所／1 踏掛版		
1 箇所／1 踏掛版		
1 箇所／1 踏掛版		
全数		
全数		
全数		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
1 箇所／1 施工箇所		
		

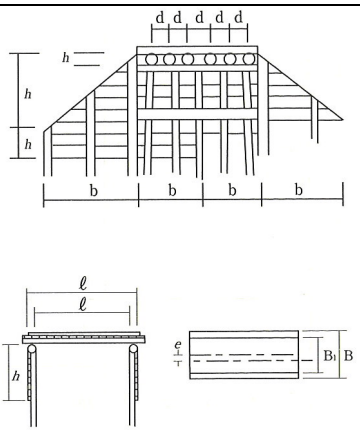
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	10		ケーブル配管工	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200
22 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	10		ケーブル配管工 (ハンドホール)	基 準 高 ▽	±30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	－20
						※幅 w_1, w_2	－30
						※高さ h_1, h_2	－30
22 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	11		照明工 (照明柱基礎工)	幅 w	－30
						高 さ h	－30

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
接続部間毎に1箇所		
接続部間毎で全数		
1箇所毎 ※印は、現場打ちの場合		
1箇所／1施工箇所		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
22 林 道 編	7 木 造 橋	3 木 造 橋			木造橋（上下部構造）	基準高▽	±100
						橋長、支間長	±50
						全 幅（B） 及び 全幅員（B 1）	±50
						けた中心間距離（d）	±30
						橋台土留め （橋軸直角 又は 斜角方向）	幅 （b） 高さ （h） -50 -30
						加工部材長さ	±50
						橋軸の編心量（e）	±100

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全箇所 橋軸方向の断面寸法は、中央及び両端部、その他は寸法表示箇所を測定する。		
けた、はり、ぬき、筋かい、高欄等の各部材		